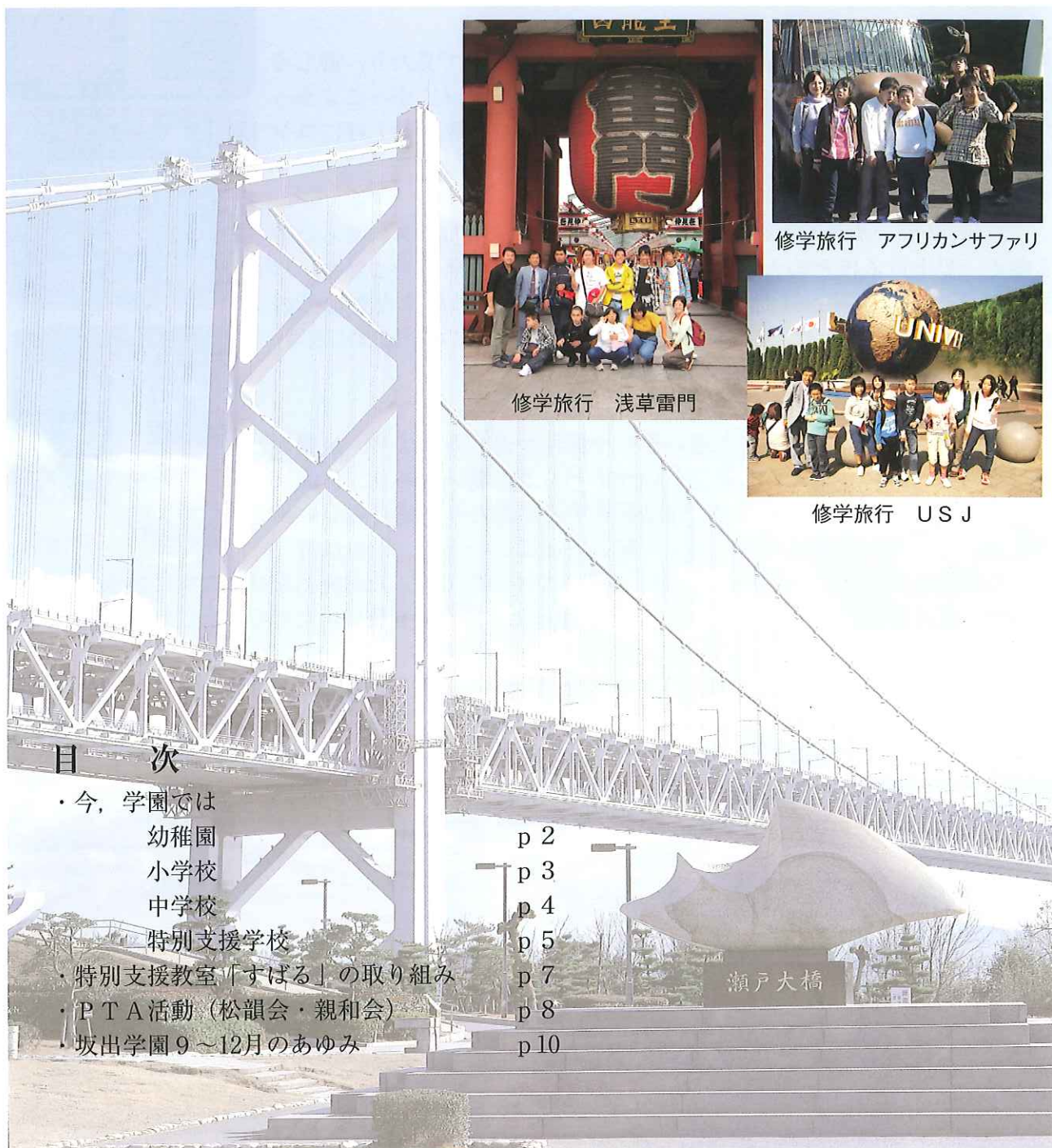


香川大学教育学部

附属坂出学園だより

第34号

2009.12



修学旅行 浅草雷門



修学旅行 アフリカンサファリ



修学旅行 USJ

目次

- ・今、学園では
 - 幼稚園 p 2
 - 小学校 p 3
 - 中学校 p 4
 - 特別支援学校 p 5
- ・特別支援教室「すばる」の取り組み p 7
- ・PTA活動(松韻会・親和会) p 8
- ・坂出学園9～12月のあゆみ p 10

★ 幼稚園の作品展 ★ ～思い出を作品にしたよ～

幼稚園の子ども達は、毎日のように、作ったり、描いたりすることを楽しみながら、自分の思いを表したり、伝えたりしています。10月16日、秋の遠足で屋島の水族館に出かけましたが、その時の楽しい感動をそれぞれが作品を作ることで表現しました。

5歳児青組 タカアシガニを紙版画で作りました。いろいろな紙の素材を使って作りました。できあがった版画のカニたちは「ぼくのはさみ、りっぱでしょ」「わたしの足、長いでしょ」と言っているかのように、どれも堂々としており、勢いのある作品となっています。



4歳児赤組 水族館で見た海の生き物や魚を、写真で見たり、詳しく図鑑で調べたりして、「大好きなイルカを描きたい」「サメ、かっこよかったな」と楽しい会話をはずませながら、クレヨンで描き、仕上げにコンテを使いました。その子らしさあふれる作品になりました。



3歳児黄組 大型バスの絵を描きました。初めて大型バスに乗った子どもも多く、見上げるほどの大きなバスを目の前にして感激したことや、バスの中での楽しかった時間を思い出しながら、自分の好きな色の絵の具を使って画用紙いっぱい描きました。もちろん、バスにはぼくたち、わたしたちも乗っています。



どのクラスの作品も、子ども達の思いや個性が感じられます。自慢の作品をお家の人にも見てほしい、という子ども達の願いもあり、作品展を行うことにしました。そこで、作品展をするにあたり、遠足の思い出の絵画に加えて、青組はハロウィンの魅力いっぱいの衣装、赤組は育てていた朝顔のつるで作ったリース、黄組は粘土や木の実で作ったお弁当をリズム室に展示しました。その他、坂出市教育文化祭や秋祭りに向けて作った共同作品も見ていただくことにしました。

いよいよ作品展 11月6日、3クラス合同の作品展は、全園児による歌の発表から始まりました。歌は、「ホ！ホ！ホ！」と「まっかな秋」の2曲です。元気いっぱいの歌声に、保護者の方々の顔も笑顔に満ちていました。続いて、一緒に自分の作品を見たり、友だちや他のクラスの作品を見たりと、楽しい時間を過ごしました。ほんの30分程度の作品展ではありましたが、歌や、作品紹介をすることで、

子ども達は喜びを、保護者の方にとっては子どもの成長を感じられるひとときになりました。



知の更新をめざした「思考力」の育成

—言語活動を充実し、思考様式を顕在化する授業づくり—

附属坂出小学校では、昨年度までの「思考力」研究の成果を継承し、言語活動を充実し、思考様式を顕在化する授業づくりを通して、子どものもつ認識が新たになるような「思考力」を育成しようと試みています。具体的には、子どもの認識の壁はどこにあるのかを見極めて問いを設定し、集団吟味の核となる反応を想定し、「思考様式」を顕在化する言語活動を充実させようというものです。

現在、来る平成22年1月28日（木）・29日（金）の教育研究発表会に向け、実践を積み重ねながら論を整理しているところです。以下に、実践しました授業をご紹介します。

研究授業

6年 社会「明治維新をつくりあげた人々 —検証！『江戸城無血開城』—

小西 寛

幕末の世、旧幕府軍を追い詰めた新政府軍は、江戸城総攻撃の準備に入ります。いよいよ攻撃開始、というその時、旧幕府側の勝海舟と新政府側の西郷隆盛は話し合い、江戸城の無血開城が決まります。この事実立ち止まった子どもたち。「鳥羽伏見の後、旧幕府側は『江戸城を背に徹底抗戦する』と言っていたのでは？」「新政府側も息の根を止めるつもりだったのでは？」等の反応から「江戸城の無血開城はなぜ実現したのか」という問いをもって学習を進めました。

その問いを解決するにあたり、「何を話し合ったのかが分からない」ことが認識の壁となりました。そこで、「江戸を戦渦に巻き込むことで誰にどんな影響を与えるか」という面から考えることにしました。子どもたちからは「戦争をする『当事者』たちが傷つく」「何の罪もない『民』が傷つく」「『外国』の植民地にされる」等、様々な立場からの考えが出されました。これらを「西郷さんは、どの考えに納得したから総攻撃をやめたのか」という点から吟味をした結果、子どもたちが一番に挙げたのはやはり「民」への影響でした。勝海舟が西郷隆盛に宛てた手紙からもそのことが読み取れ、「民への影響を考える」思考様式が顕在化されていきました。最後には、この思考様式を活用し、西郷隆盛になったつもりで、意気上がる新政府軍の仲間たちを説得する手紙を書いた子どもたち。幕末の志士の心意気に触れることができ、関心を高めることができました。



【西郷隆盛が納得したのは？】

3年 音楽「風船の気持ちをリコーダーで表現しよう ～『にじ色の風船』～

久米 亜弥



【曲に合わせて身体表現する】

本単元は、リコーダーの旋律は同じでも、伴奏が違う2種類の「にじ色の風船」を教材として取り上げ、「強弱や速度を工夫していても、伴奏がないと2曲の違いが伝わらないよ。」という認識のズレから2曲の伴奏を聴き比べる活動を設定しました。そして、それぞれの伴奏から感じたイメージと、身体表現によって体感したリズムとを結び付ける学習を意図しました。



【当てはめたリズムに変えて演奏する】

本時において、伴奏の体感による気付きでは、「2曲目の方が、手拍子が多くなった。」「連打していた。」「速かった。」などの意見が次々と出されました。そこで、「手拍子が多い」という意見を核となる反応とし、1拍の中にどのように手拍子が入っているのか、実際に手を打ちリズムを口ずさみながら伴奏のもつリズムの特徴を捉えていきました。そして、確認したリズムを○リズムに当てはめ、実際にリコーダー演奏を通して、2曲目のイメージと結び付いているかどうかを考えていきました。子どもたちは、「リズムを変えると、1拍の中にたくさん音が入って『急げ!』という感じがするよ。」「これなら2曲の違いが表せるね。」など、リズム変奏によるイメージが出され、「イメージに合わせてリズムを変える」という思考様式を顕在化していきました。

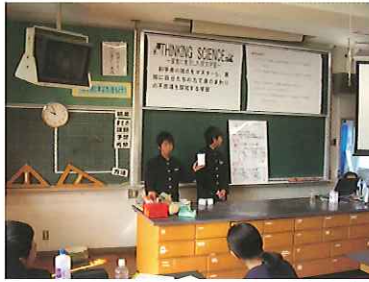
平成21年度 文化祭・発表会

秋晴れのさわやかな天候のもと、11月3日に文化祭が行われました。インフルエンザの影響でお昼からの元気村は延期となりましたが、シャトル学習・総合学習の発表が行われました。まだまだ完全な発表とはいえませんが、発表する者も質問する者も、態度は真剣そのもので、今後につながるよい学習となりました。

1 シャトル学習発表会

1年生から3年生までの異学年が集まりクラスを編成し、発展的な内容を扱う9教科の内容から、興味ある学習内容を選択しました。

国語	「創作童話」をコラボで制作！
社会	世界遺産「屋久島」探訪
数学	温室効果ガスの秘密など
理科	これが科学者の視点だ！
音楽	箏奏創
美術	影絵の世界
保健体育	きめろ！アタックNO.1！！
技術・家庭	食文化を伝える人など
英語	フランスに、世界に、Japanを発信



2 総合学習発表会

1年生～3年生からなる3人～5人のグループ（クラスター）で研究を行いました。現代社会を「もの」「ひと」「こと」の視点から見つめ、それぞれのクラスターで探求する課題を設定しました。文化祭までの活動は仲間と語り合い、外部に情報を求めながら、課題を追究していきました。

当日のテーマの例

もの	新体育館の開発 エコな町づくり計画
ひと	附坂中ハローワーク さぬき人の探究
こと	～販売の極意～ アニメの表と裏



3 展示

文化部や学年団を中心とした展示がありました。夏休みに製作されたものやこれまでの活動の歩みを記したものなど、外部から見学に来られた方たちに附属中学校の活動を深く知ってもらえる機会となりました。



第15回
研究発表会

暮らしを支える共動支援をめざしてII

~WANTSの実現を支援する取り組み~



研究テーマについて

本校では、自分で選んだり決めたりしながら自らの生活に主体的にかかわろうとする子どもの育成をめざしています。そこで、本人の抱いている思いや願いをWANTSと称し、WANTSを実現するための知識や技能の習得に向けた、授業や教育課程の在り方を研究してきました。学校、家庭、そして一緒に支えてくれる人たちの共動(共に動く)を基盤とした、WANTS実現を支援する取り組みです。

共に考える
参加型の
研究発表会です

平成22年 **1月23日(土)** **タイムスケジュール**

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8:10	8:40	9:40	10:30	11:20	12:20	13:30	14:50		16:30
受付	開会 全体提案 行事	研究 公開授業 1	研究 公開授業 2	昼食 ポスター 発表	分科会	パネル ディスカッション	講演		閉会 行事
8:40	9:30	10:20	11:10	12:20	13:20	14:40	16:30		16:40

研究・公開授業 **全クラス、授業を公開します!**

小学部



研究

生活単元学習(Aグループ)「選んで、決めるわたしたちの校外学習~プレイパーク編~」
模擬体験をしながら、自分のやりたい活動を出し合い、パーク内での過ごし方を考えていきます。一人一人が役割をもって授業に参加します。

公開

生活単元学習(Bグループ)「選んで、決めるわたしたちの校外学習~プレイパーク編~」
「どちらにしようかな?」選択の場において、模擬体験や映像などでイメージをもちながら、「自分で決める」学習です。

公開

ことば・かず(1年)「これなあに?~プレイパーク編~」
プレイパークのアトラクションや、食事メニューの名前をマッチングや歌遊びをとおして学びます。後半は個別学習に取り組みます。

パワーアップタイム(中学部 1, 2, 3 組 課題別グルーピング)

中学部

**研究** マリナーズグループ「チームプレイで楽しもう! 野球ゲーム」

本グループ全員に共通した興味・関心のあること、「野球」のゲームをすることをおして、相手の気持ちを考えながら声をかけたり、お互いに協力したりすることを学びます。

公開 ハッスルグループ「提案します! 私のプラン」

楽しい会の実現に向け、対話を重ね準備を進めていきます。システム手帳やパソコンを使って司会や提案をし、聞く・話す力を身に付けます。

**公開** ハッピーグループ「みんなで決めよう, 今日の活動」

グループの友達と活動内容を決める過程で、適切な言い方で伝えること、全員が楽しむために意見や自分の気持ちを調整することを学びます。

**公開** スマイルグループ「自分から伝えよう~調理編~」

大好きなデザート作りの準備や調理の過程で、支援グッズを使いながら、指導者に要求したり依頼したりする力を身に付けていきます。

公開 エンジョイグループ「選ぼう・伝えよう・楽しもう~ボールゲーム編~」

やりたいボールゲームを選択してゲームに取り組むことで、各自のコミュニケーションツールを使って指導者に伝える有効性を学びます。

高等部

**研究** 暮らしA「卒業後の生活に向けて」高等部2・3組

将来の生活を見据えて、「お助けブック」を活用したり、支援を求めたりしながら自立した日常生活が送れるよう家事に取り組みます。

**公開** 暮らしB「家事名人になろう①」高等部2・3組

デザート作りという実際の場面で、今まで培ってきた家事に関する技能を主体的に活用しながら活動に取り組みます。

公開 ライフスキル 高等部1組

A・Bの2グループに分かれ、時間の有効な使い方を意識しながら、一人一人が「個別の共働支援計画」に挙げられた複数の課題に取り組みます。

講演
演題

テーマ「障害のある児童生徒の個に応じた発達支援の新しいモデル」
—WANTSに基づく教育の実現に向けて—

藤野 博先生 (東京学芸大学総合教育科学系特別支援科学講座 教授)

発達障害がある児童生徒への具体的な教育支援, 特にコミュニケーションやソーシャルスキルトレーニングにおいて先進的な研究をされています。

21年度 特別支援教室すばるの研究活動から

平成21年10月10日から12日の3日間、東京学芸大学にて日本LD学会第18回大会が開催されました。本大会は、「特別支援教育における接続可能な教育実践を！」のメインテーマのもと、講演会や各種シンポジウム、ポスター発表が行われました。特に講演会は大変な人気で、各会場では立ち見も多く、それでも入りきれない会場が多く見られました。

本教室からは、ポスター発表を2本行いました。1つ目は、「通常学級の担任がクラスの子どもに求める社会性とは」というテーマで発表しました。この研究では、定型発達児の社会性について把握するため、通常学級の担任が必要と感じる子どもの社会性について調査し、分析しました。具体的には、まず幼稚園・小学校・中学校の通常学級の担任に対してアンケート調査を実施し、クラスの子どもたちに期待する社会性について把握しました。この結果をもとに、幼児および小中学生が実際どの程度社会性を身につけているか実態調査し、その結果を分析して報告しました。発表の場では、参加者から質問項目についての質問や意見、分析方法についてのアドバイスをいただきました。今後は、本大会で発表した結果をもとに定型発達児と発達障害児の比較検討を行い、最終的には発達障害のある子どもの早期発見に役立つチェックリストを作成したいと考えています。



2つ目は、「書き困難の主訴の内容別によるWISC-IIIプロフィールの特徴」というテーマで発表しました。この研究では、書字困難をもつ子どもを対象として、主訴の内容別にWISC-III知能検査のプロフィールの特徴を検討しました。分析の結果、書字に関する困難の様相によって認知プロフィールに特徴が見られることがわかりました。そこで、WISC-III知能検査に反映される認知的特徴から、それぞれの書字困難の背景要因として考えられる認知機能について報告しました。発表の場では、具体的な子どもの状態と認知

プロフィールとの関連性について参加者と議論を深め、今後の研究に役立つ視点を得ることができました。今後は、子どもが抱える困難と認知機能との関連性について明らかにするため、年齢や知的水準等の条件を設定したうえで詳細な検討を加えていきたいと考えています。

第3回 特別支援教育研究大会について

本教室の過去8年間の取り組みをまとめ、第3回研究大会を実施することが決まりました。今回の研究大会の内容は、「発達障害児のための特別支援教室に求められる役割とは」(仮)の統一テーマのもとに、講演やシンポジウム、教科の補充指導・社会性の指導・コーディネーターによる支援等の分科会を計画しております。日程等については以下の通りです。

1. 日時 平成23年3月5日(土)
2. 場所 サンポートホール高松

詳しい大会案内は、22年度早々にご案内する予定です。ご期待ください。

幼稚園より

ウェンディーの会 ～プリザーブドフラワーのアレンジメント～

10月16日にウェンディーの会で、プリザーブドフラワーのアレンジメント体験を行いました。通常、お花の教室にでも通わないとなかなか体験できませんが、今回はリズム室で、講師の先生をお招きして指導して頂きました。各人、お花の色を決めたり、活け方をアレンジしたり、個性豊かなステキなものが出来上がっていたように思います。また、黄・赤・青組の保護者で、学年を越えていろいろな方とお話しながら作業し、交流を深めることができ、とても楽しかったです！



絵本当番

幼稚園では週に一度、園児たちが絵本を1冊借りることが出来ます。

昨年度までは、降園直前の30分の間に、全クラスが絵本の貸し借りをしていましたが、園児全員が立ち替わり入れ替わり行うため、時間的に短く、場も狭いため、十分に絵本を楽しめていない状況がありました。そこで、ゆっくりと絵本を選んだり見たり、読み聞かせを楽しんだりできるようにと、今年度より新しく次のような試みをしています。



- ・全クラス同じ時間帯ではなくクラス毎にして、ゆったりと絵本を楽しめる時間と場にする

- ・例年、ボランティアで保護者の方に、本を選ぶお手伝いや、貸出カードへの記入をして頂いておりましたが、絵本の読み聞かせもお願いしていること

子供たちは、自分のお母さんやお友達のお母さんが、まるで先生のように絵本を読んでもくれるので、うれしそうに、また少し照れくさそうな顔をしながら話に聞きいっています。

保護者の方々のご協力、ありがとうございます！

小学校より

PTAスポーツ

7月5日(日)、市ソフトバレーボール大会、また7月12日(日)には市Pバレーボール大会開催され、白熱したプレーに大いに盛り上がりました。7月26日(日)には四附連球技大会が附属高知学園で開催されました。残念ながら天候不順のため、男子ソフトボールは試合途中で中止になりました。お母様方のバレーボールを皆で応援し、懇親を深める事が出来ました。



市Pソフトバレーボール



市Pバレーボール



四附連

7月26日(日)には四附連球技大会が附属高知学園で開催されました。残念ながら天候不順のため、男子ソフトボールは試合途中で中止になりました。お母様方のバレーボールを皆で応援し、懇親を深める事が出来ました。

土曜クラブ

10月3日(土)、恒例行事となっています光輝里フェスティバルに向けて作品作りを行いました。手馴れた生徒たちも多く、子どもらしい夢一杯で色とりどりの作品が見事に出来上がりました。作品作りの後は、手作りパットライスをお土産に頂き、親子で芸術の秋を満喫した一日となりました。今年も年末の市民広場を子どもたちの作品が暖かな光を放ち照らし続ける事でしょう。



中学校より

11月3日の文化祭当日、2F多目的室にて、保護者交流会を開催しました。急な企画でしたが、多くの方々が訪れてくれました。運動会・修学旅行のビデオを見たり、たくさんの人と話ができたりと、有意義な時間を過ごすことができました。ちょっと緊張感のある学校で、ちょっとほっとできる空間となっていました。今後も継続していますので、ぜひご参加ください。

また、11月23日（祝）にはPTA研修旅行がありました。今回は、岡山県備前市にある現存する日本最古の庶民教育の学校である国宝「旧閑谷学校」を見学しました。寺院風の建物には、学ぶ



ことの大切さを考えさせられる厳粛な雰囲気が漂っており、現代の子ども教育に携わっているPTAの意義をも考えさせられました。その後、神戸・北野ホテルで、美味で美しいお料理を味わいながら保護者間だけでなく



先生方ともどんどん話が弾み楽しい時間を過ごしました。学びと和みがたっぷり、保護者と教師の間が暖くなるような有意義な一日でした。

特別支援学校より

親和会

中・四国地区知的障害教育校PTA連合会

10月30日（金）31日（土）、本校を会場として全国知的障害教育校PTA連合会中・四国大会が行われました。中・四国地区から22校のPTA会長・役員・校長先生方がお見えになり、本校役員・教員合わせて100名ほどの参加となりました。本校の参観の後、昼食に名物さぬきうどんと押し寿司をセルフ形式で召し上がっていただき、とても喜んでいただきました。



午後からの開会行事の後は、香川大学の坂井聡准教授をお招きして、「障害のある子どもとのコミュニケーション」と題して講演をしていただきました。坂井先生の明るく・わかりやすいお話で、会場は和やかな雰囲気に包まれました。その後、情報交換題に基づき、学校の活動・状況などを発表し、活発な意見を交わしました。



18時から、宇多津のホテルサンルート瀬戸大橋で懇親会を行いました。オープニングに本校卒業生を含む「さぬき組」の和太鼓演奏をお聞きいただき、食事をしながら歓談・学校紹介など、楽しい時間を過ごしました。翌日も情報交換の議題について話し合い、連絡協議会として全国大会や総会の報告・次年度担当校のご挨拶などをして頂き、閉会となりました。

本校にとって、とても責任の重い会を担当させて頂きましたが、PTA役員・職員が一体となって開催し、無事に終えることができたことを喜んでおります。

運動会(9月19日)

坂出学園の秋季大運動会が9月19日に行われました。プログラムの最後に、生徒の創作によるマスゲームがおこなわれました。今年は「天地人」のテーマのもと、I場：天～天の時～(1～3年男子)、II場：地～地の利～(1～3年女子)、III場：人～人の和～(3年)、IV場：天地人(全員)の4部構成でした。男女ともに素晴らしいピラミッドを完成させ、全員で感動を伝えあうことができました。



総合学習の日(10月7日)



10月7日、総合学習「CAN」の学習が1日行われました。台風の影響で校外学習は午前中だけでしたが、岩黒島へ島民の人々の調査に行ったり、ケーキ作りを使うために塩江へ稀少糖の研究に行ったり、たいへん有意義な学習を進めることができました。また、学校内でも、調理室でお菓子作りをしたり、手動のパティングマシンを作ったりと、いつもの2時間ではできない探求活動が行えました。

中 学 校

出前授業

10月22日、理科クラブに四国電力の出前授業が来てくれました。スライドで分かり易く説明してくれたり、実際に体験させてくれたりしました。炭酸ガスによる地球の温暖化が分かる実験や液体窒素ガスで瞬間冷凍させる実験には、興味津々、全員が目を輝かせていました。



歯磨き指導



10月27日、穴吹医療カレッジの歯科衛生学科の学生による歯磨き指導が全クラスでありました。学年に応じた歯についてのお話をしてもらった後、歯垢の染め出しで真っ赤になった箇所を磨き方を一人一人丁寧に教えてもらいました。みんな真剣に自分の歯を磨いていました。

小 学 校

特別支援学校

人形劇の鑑賞(11月10日)

日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」の主催で、おはなしきゃらばん「つばさ」の人形劇「さむらい忍者とび丸」を鑑賞しました。普段の体育館に立派な舞台が出来上がり、忍者の格好をした劇団の人がいっぱいいてびっくりしました。オープニングではみんなで楽器を持って踊ったり歌ったりして楽しい雰囲気スタートしました。途中でとび丸の手裏剣修行に飛び入り参加することもできました。最後は握手をしたり、記念写真を撮ったり思い出に残る楽しい一日になりました。



緑の交流会(11月13日)



コメリ緑資金の会の助成を受けて、小学部・高等部がコメリ坂出店の方と一緒に校内の緑化活動を行いました。パンジーの苗やチューリップの球根を丁寧に扱いつつ花壇に植えました。植え終えた小学部の花壇は、見違えるほどきれいになって学校が明るくなったような気がします。プランター20個にもパンジーを植えました。玄関やプレイヤードに設置して「ふれあいまつり」には来ていただいた人に見てもらいたいと思っています。長く花を咲かせていられるように水やりもがんばりたいと思います。

幼稚園

「生活につながる健康のお話」

毎月、身体計測の時間に、養護教諭が「健康」についてのお話をしています。そして、それを聞くことで自分の生活を振り返ったり、生活の中で挑戦してみようという気持ちになったりすることを願っています。11月は、「食べることが元気のもとになる」ことについて、ビデオや紙芝居を使ってお話ししました。今、忍者の修行が遊びの中で盛んになっている年中組では、「にんじん忍者、にんにんまる」が、野菜を使って「きんざえもん」という悪者をやっつけるお話でした。その後のお弁当の時間では、いつもは食べられない野菜にも向き合うことができました。



野菜も食べて、元気になるよ！

「ようこそ、ハロウィンパーティーへ」

10月30日、青組さんがずっと準備していたハロウィンパーティーがいよいよ開幕。おばけ迷路やアメ探し、くじ屋やじゃんけんゲームなど、青組さんたちが考えて作ったいろいろな催しを、黄組や赤組さんたちが大喜びで楽しみました。青組は自分たちの手で考えて進め、やり遂げた充実感を味わい、黄組や赤組は年長児らしい思いやりや工夫を身をもって感じたことでしょう。



おばけ迷路に挑戦するぞ！

よし、くじ屋の準備はOKだ！

編集後記

9～12月は、各校園で様々な行事がありました。教育実習、坂出学園秋季運動会、教育文化祭、ふれあい祭り等々…。地域の方々や保護者の皆様のおかげで無事終えることができました。また、各校園の児童生徒との交流も図られ、共に学び合う姿から、子どもたちの成長を感じ取ることができました。

特別支援学校では、この秋、小学部5・6年生、中学部・高等部の各3年生が修学旅行に行きました(表紙写真)。自分たちで選んだり計画したりしたコースを満喫し、友達と楽しく過ごすことができました。

今年も残すところわずかとなりましたが、保護者の皆様ならびに関係機関の皆様には、色々のご支援・ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

発行年月日：2009年12月18日

発行事務局：附属特別支援学校

佐藤 美芽 (附属幼稚園)

横山 新二 三宅 永哲 (附属坂出小学校)

寺岡 英郎 木谷 直充 (附属坂出中学校)

武田 光弘 伊藤 宏美 (附属特別支援学校)